



戦前の北谷城周辺は、南側に北谷・伝道・玉代勢といった本字と呼ばれる近世以前に成立した古い集落が、北側は桑江又前・謝苅などの屋取と呼ばれる近世期に成立した開拓集落が広がっていました。集落周囲の広大な平地には田んぼやイモ・サトウキビ畑が広がり、農業を主な産業としていました。

沖縄戦終戦直後は北谷村の全域が米軍用地として接收されました。長い年月をかけて軍用地の返還を求め、町域で軍用地が占める割合が5割程度となった現在も、戦前に集落のあった町域西側の平坦地は軍用地として利用されています。

写真は1988年(昭和63)6月に撮影された空中写真です。写真中央にある小高い緑地が北谷城で、左側には白比川が流れています。白比川から右側一帯の平地がキャンプ瑞慶覧で、白比川の左と県道24号の間に細く宇地原区の住宅地があり、さらに左手の平地にはキャンプ桑江が広がっています。



お問い合わせ 公文書館 ☎982-7739

公文書館では北谷に関する資料を収集しています。資料の種類や新旧に関わらず、ご寄贈や情報提供などのご協力をお願いします。